

連合農学研究科（博士課程）

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

鹿児島大学大学院連合農学研究科は、全学の学位授与の方針及び連合農学研究科の教育目標に鑑み、以下に挙げる能力を身につけて学位論文提出の基準を満たし、学位論文の審査及び最終試験に合格した者に博士の学位（農学、水産学又は学術）を授与する。

1. 「博士」として社会から期待される品位、高度な専門知識と技術、データ解析能力、学際的な広い視野と柔軟な思考力を持ち、農林水産業の諸課題を、自律的に見出し、解決する能力と行動力
2. 「研究者・技術者・教育者・指導者」として、地域社会から国際社会まで幅広く活躍できる能力とリーダーシップ精神を発揮できる能力

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

鹿児島大学大学院連合農学研究科は、学位授与の方針に掲げる能力を備えた人材を育成するため、以下のとおり教育課程を編成のうえ、実施する。

1. 入学から学位取得に至るまで系統性のある教育編成
 - ①農林水産学・生命科学に関連する高度な専門知識・技術を修得させるとともに、学位論文の研究指導を通して農林水産業の諸課題を自律的に見出し、解決する能力と行動力を向上させる教育を行う。
 - ②農林水産学・生命科学を広く俯瞰する学際的な視野を向上させる教育を行う。
 - ③博士課程学生として最先端のデータ解析能力や論理的な思考力、説明能力を備え、困難な課題に挑むチャレンジ精神を育む教育を行う。
 - ④グローバルな視野を備え、社会が求める博士人材を的確に理解し、地域社会と国際社会の発展に貢献できる能力を育む教育を行う。
2. 目的・目標に応じた方法による教育の実施
学位授与の方針に掲げる能力を育成するために、各科目の目的・目標に応じた教育活動を行う。
3. 厳格な成績評価の実現
各科目において教育・学修目標と評価基準を明確に示し、厳格な成績評価を行う。

入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）

1. 求める人材像
生物資源の持続的な利用と環境と調和した農林水産業の発展に資する農林水産学・生命科学分野の諸課題に関心と問題意識を有し、博士の学位取得の能力と熱意を備え、課題解決と学理探究を目指す、学生および社会人を国内外から積極的に受け入れる。
2. 入学前に身につけておいて欲しいこと
農林水産学・生命科学における幅広い知識と専門分野における修士相当の学力、ならびに豊かな国際感覚と博士課程に必要な英語力が必要である。また、留学生については日本語の基礎力も望まれる。
3. 入学者選抜の基本方針
一般選抜においては、口頭試問におけるプレゼンテーション（修士論文の内容と入学後の研究課題・研究計画）と質疑応答の内容、出願書類の評価及び英語外部試験の成績から合否を判定する。また、外国人留学生・社会人特別選抜においては、口頭試問におけるプレゼンテーション（修士論文の内容と入学後の研究課題・研究計画）と質疑応答の内容及び出願書類の評価から合否を判定する。